

1 事業概要			
事業名	一般県道 ^{ひかりくが} 光玖珂線 交通安全事業		
事業場所	岩国市周東 ^{せんぞく} 町千束 地内		
事業主体	山口県	事業方法	● 国庫補助 ○ 単独
財源・負担割合	● 国 55 % ● 県 45 % ○ 市町 % ○ その他 %		
事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 24 年度		
総事業費	1,228 百万円		
事業目的	<p>一般県道光玖珂線は、光市島田の国道188号との交差点を起点とし、岩国市玖珂町に至る、地域住民の生活を支える重要な道路である。</p> <p>当該区間は、小学校、中学校等の通学路であるにもかかわらず、歩道が未整備であるため、児童・生徒をはじめとする歩行者は危険にさらされている。また、車道幅員が狭小な区間があるため、車両同士のすれ違いが困難で、円滑な通行に支障をきたしている。</p> <p>このため、歩道の整備や車道の拡幅等により、安心・安全な道路交通環境を確保するものである。</p>		
事業内容	歩道設置 ○延長 L=0.98km ○幅員 全幅10.0m (車道6.0m 歩道2.5m(片側))		

2 事後評価の視点	
(1) 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	
【費用対効果分析】	
【要因変化の分析】	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>交通安全事業は、交通事故を抑止し、歩行者等の通行の安全を確保するために、交差点改良、歩道整備等を実施する事業であることから、費用対効果分析は行っていない。</p> </div>
(2) 事業の効果の発現状況	
【事業の効果の発現状況】	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の整備により、歩行者・自動車の通行空間が分離され、歩行者の安心・安全な道路交通環境が確保された。 車道の拡幅等により、円滑な道路交通環境が確保された。
【事業の効果の発現状況に対する評価】	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者の安全性の向上が図られた。 自動車交通の安全性の向上や円滑化が図られた。

(3) 事業実施による環境の変化

【変化の状況】

- ① 自然環境への影響
 - ・当事業区間の整備により、約0.1haの田が減少した。

- ② 生活・住環境等への影響
 - ・歩道の整備により、住民生活の安全性が向上した。

- ③ 環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合）
なし

(4) 社会経済情勢の変化

【変化の状況】

- ① 社会経済状況及び事業環境等の変化
なし

- ② 関連計画・関連事業の状況の変化
なし

(5) 今後の事後評価の必要性

なし

(6) 改善措置の必要性

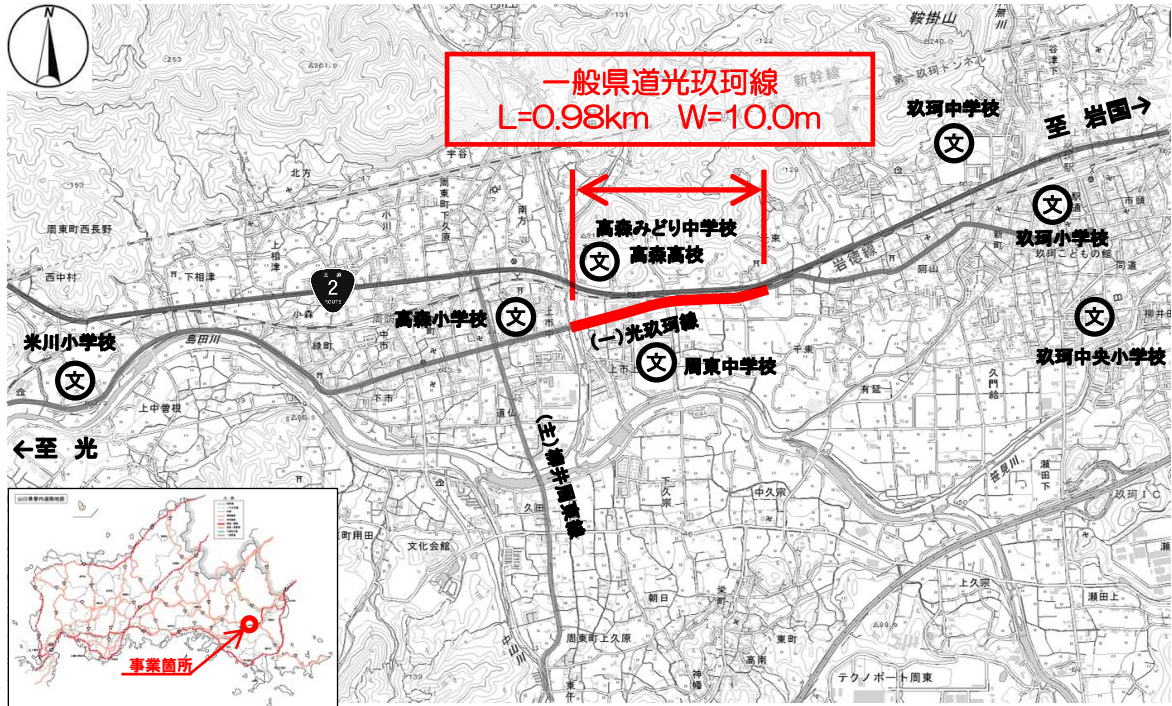
なし

(7) 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

なし

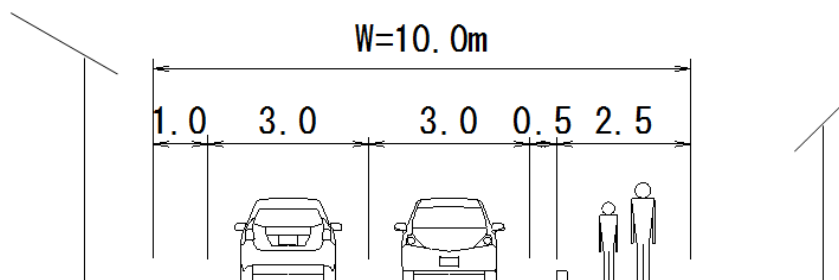
ひかりくが
一般県道光玖珂線 交通安全事業

平面図



※この地図は、国土地理院地図（電子国土Web）の一部を掲載したものである。

標準断面図



写真

